

第4回 台東区子ども歴史・文化検定 小学生問題

解答と解説

解説文の最後に、参考ページ数をのせています。

※改 とついているものは、改訂版テキストのページです。

平成25年8月24日（土）
台東区教育委員会

問1

正解 ウ

関東大震災は1923（大正12）年におきた大地震です。この大震災をきっかけに、東京の町づくりが、あらためておこなわれました。道路や橋、広場や公園などが、大火災がおきても、大きな被害がでないように作られました。ア. 宝永の大噴火は1707（宝永4）年、イ. 安政大地震は1855（安政2）年、エ. 東京大空襲は1945（昭和20）年にあった出来事です。（30^{ページ}頁・改30頁）

問2

正解 ウ

浅草寺の境内に1618（元和4）年につくられました。（17頁・改16頁）

問3

正解 ア

イ. ウ. エ. はいずれも上野台につくられた古墳です。（11頁・改10頁）

問4

正解 エ

上野公園にある摺鉢山は前方後円墳ですが、古墳時代につくられました。（10頁・改9頁）

問5

正解 ア

蔵前は江戸時代の初期に、幕府の米蔵がつくられた場所です。幕府が集めた米を荷揚げするため、船着き場が整備された結果、でこぼこしているように見えます。(16頁・改15頁)

問6

正解 エ

5代将軍綱吉は1698(元禄11)年に江戸随一すいいちといわれた寛永寺の根本中堂(本堂)を建てました。(17頁・改15頁)

問7

正解 エ

弁天山べんてんやまの小高くなったところに設置され、今でも1日1回朝6時に鳴らされています。寛永寺の鐘も大仏堂の正面に設置され、朝夕6時と正午に時を告げています。(19頁・改19頁)

問8

正解 ア

1707(宝永4)年の噴火で、江戸の町に大量の火山灰が降った記録があります。(53頁・改53頁)

問9

正解 エ

ペットボトルの材料は合成樹脂ごうせいじゆしです。江戸時代にはなかったものです。(47頁・改47頁)

問10

正解 ウ

レンガが建築素材となるのは、明治時代以後のことです。しかし関東大震災での凌雲閣りょううんかくの倒壊に象徴されるように、地震に弱いことが明らかになったため、小規模な建築以外では使われなくなりました。アの代表例が下谷(上野)広小路。イで代表されるのが、いろは四十八組の町火消です。エは家を破壊することにより延焼えんしょうを防ぎました。当時も防火用水ぼうかようすいは常備じょうびされていましたが、消火しょうかできるほどではありませんでした。(50～51頁・改50～51頁)

問11

正解 ウ

とても高価なものだったので、「大名でなければ持てない」という意味から、大名時計と呼ばれました。(53頁・改54頁)

問12

正解 エ

小さい路(せまい路)を広げたという意味で広小路といいました。下谷(上野)広小路や浅草広小路はその例です。(51頁・改51頁)

問13

正解 ア

「梅若伝説」とは、梅若という子どもが人買いにさらわれて奥州^{おうしゅう}へ連れて行かれる途中、病で亡くなったことを知った母親が、悲しんで出家して妙亀^{みょうき}尼となりますが、やがて鏡ヶ池に身を投げたという話です。橋場には、供養のための妙亀塚という塚もあります。(78頁・改78頁)

問14

正解 ア

一銭蒸気は1区間の料金が1銭だったところから、そう呼ばれるようになりました。船内の物売り風景が名物でしたが、戦争が始まるとしだいに廃止されていきました。(71頁・改70頁)

問15

正解 イ

舟を使うと荷物をたくさん運ぶことができました。そのため区内には水路がたくさんありました。(69頁・改69頁)

問16

正解 工

豊臣秀吉は大坂城を、織田信長は安土城を、伊達正宗は仙台城をそれぞれ築きました。(74頁・改74頁)

問17

正解 ウ

橋がかかっていると、そこから敵が攻めてきやすくなるため、あまり橋がかけられません
でした。そのため、人々は渡し舟で川を渡りました。(74頁・改74頁)

問18

正解 ア

現在の台東区内には、広さなど条件のよい土地があったため、大火の後には谷中や浅草な
どに多くの寺社が移転されました。(83頁・改83頁)

問19

正解 ウ

門前町が成立することによって、その周辺も発展し、市街地化がいつそう進むという効果
もありました。(83頁・改83頁)

問20

正解 ウ

8代将軍吉宗は、隅田堤や飛鳥山(王子)、御殿山(品川)などにも桜を植えて、庶民の
いこいの場をつくりました。(90頁・改18頁)

問21

正解 ウ

アの大根まつりは大根や野菜を本尊ほんぞんに供えしょうばいはんじょう商売繁盛などを願います。イのまないた開きは鯉こい2匹をまないたに乗せ、手を触れずふに長い箸はしと包丁ほうちょうで料理する儀式ぎしきです。エの浄名院にあるのは「へちま地蔵じぞう」です。(91～98頁・改88～95頁)

問22

正解 イ

1989(平成元)年に始められた催しで、馬道通りから雷門通りを練り歩きます。(99頁・改96頁)

問23

正解 ウ

毎年5月18日に近い金・土・日に行われます。三社の三は、檜前ひのくまのはまなり浜成・竹成たけなりの兄弟と土師中知はしのなかともの3人を祭神とすることからきています。(95頁・改92頁)

問24

正解 ア

イは茅の輪くぐり、ウは火渡り神事、エはうそかえ神事の説明です。(91頁・改88頁)

問25

正解 ウ

「福を掻^かき込む（取り込む）熊手」という文句とともに、おたふくや千両箱^{せんりょうばこ}、稲穂^{いなほ}などをつけた熊手が縁起物として売られています。（99頁・改96頁）

問26

正解 イ

江戸時代の中期ごろから富士登山することが流行りましたが、実際には登山できない人もあり、その模擬体験^{もぎたいけん}ができる信仰^{しんじつ}の施設として富士塚はつくられました。小野照崎神社には5メートルもある富士塚がつくられ、毎年6月30日と7月1日の両日^{りょうじつ}、富士山山開きの日にちなんでも登ることができます。（112頁・改109頁）

問27

正解 イ

大根は健康増進・一家和合を、巾着は商売繁盛を表しています。待乳山聖天ではあちらこちらにこのマークをみることができます。（103頁・改100頁）

問28

正解 エ

住職が負けたので、翌年から榎の実がなくなかったという話です。このお寺を榎寺というのはそのためです。（111頁・改108頁）

問29

正解 イ

1934(昭和9)年の建てかえの時、拝殿はいでんに日本画の巨匠きよしやう横山大観により、天井絵「龍」が描かれました。広重うきよえは浮世絵、春草は「黒き猫」など、観山くわんざんは「光明皇后こうみょうこうごう」などを描きました。大観は池之端に住んでいました。(113頁・改110頁)

問30

正解 イ

伊藤玄朴は西洋医学医。長崎でシーボルトしとやいすみほしどおに学び、下谷和泉橋かみづみはし通りに塾を開き、特に天然痘てんねんとうを予防する種痘ふきゅうの普及につとめました。1858(安政5)年に神田岩本町かんだいわもとちょう付近に私立の種痘所を設置、2年後には官立となりました。(122頁・改119頁)

問31

正解 イ

ランチュウは、明治時代に石川亀吉いしかわかめきちという人によってつくられました。(56、126頁・改56、123頁)

問32

正解 ウ

渾天儀とは天体の位置かんそくの観測に用いた機器で、テキストに写真けいさいが掲載されています。(117頁・改114頁)

問33

正解 ア

徳川吉宗による享保きょうほうの改革以後、実学じつがく（生活に役立つ学問）が奨励しょうれいされたため、本草学を研究する学者が増えていきました。代表的な本草学者は、小野蘭山おのらんざんや岩崎灌園いわさきかんえんらです。（124頁・改115頁）

問34

正解 ウ

ヨーロッパから輸入された洋書は、主にオランダ（和蘭）から輸入されたもので、オランダ語で書かれた書物でした。そのため、ヨーロッパから伝わった学問のことを蘭学と呼びました。（117頁・改114頁）

問35

正解 ア

平賀源内は、本草学をはじめ多方面にわたって活躍しました。エレキテル（摩擦発電機）は、源内が長崎で見た発電機を復元したものです。（125頁・改122頁）

問36

正解 ア

池波正太郎は1923（大正12）年に浅草聖天町に生まれました。生涯学習センターの記念文庫には、遺族いぞくの寄贈きそうによるたくさんの資料や遺品が常時展示されています。（138頁・改136頁）

問37

正解 エ

谷中の住まいとアトリエは、朝倉彫塑館^{あさくらちようそかん}として一般公開されています。日本彫刻界に貢献した功績によって、1948（昭和23）年に文化勲章^{ぶんかくんしょう}を受賞、1961（昭和36）年には台東区名誉区民となりました。（133頁・改131頁）

問38

正解 エ

第1回内国勸業博覧会は、1877（明治10）年に日本で最初の国家的博覧会として、上野公園で開かれました。会期中には45万人が来場し、これをきっかけに上野公園では各種の博覧会が何回も開かれるようになりました。（147頁・改146頁）

問39

正解 ウ

町田久成は博物局につとめ、日本で初めての博物館設立のために努力した人です。東京国立博物館は1882（明治15）年に完成しました。（145頁・改144頁）

問40

正解 エ

大正時代中期には、乗合自動車や一般の自動車^{のりあい}などが行きかい、交通量は増加していました。（154頁・改153頁）

問41

正解 工

凌雲閣は通称「十二階」といいます。1890（明治23）年に開業しました。10階までが八角形のレンガづくり。その上は木造でした。日本で最初のつるべ式のエレベーターが設置され、8階まではエレベーターで上れました。ただ、エレベーターは危険ということで、2年で廃止されました。（154頁・改153頁）

問42

正解 工

スキーは、明治時代後期に新潟県に最初に伝わりました。（148、149、155頁・改147、148、154頁）

問43

正解 工

寄席は、落語などの大衆演芸を開く演芸場のことです。（155頁・改154頁）

問44

正解 工

日本最初のモノレールは、1957（昭和32）年に上野動物園につくられました。現在運行しているのは4代目の車両です。（144頁・改143頁）

問45

正解 ウ

下町風俗資料館では、明治・大正・昭和時代の初めころの下町の町並みを再現しています。
(160頁・改159頁)

問46

正解 ア

この建物とは1890(明治23)年に建てられた「旧東京音楽学校奏楽堂」のこと。現在のような音響装置おんきょうそうちがない時代の建物のため、音響効果をあげるための工夫が各所に見られます。現在もコンサート会場として使用されています(現在は休館中です)。(165頁・改164頁)

問47

正解 ウ

旧吉田屋酒店は、大きく突き出した梁はりが屋根を支える出桁造や、板戸を上げ下げして開閉するシャッターと似た揚戸など、明治時代の商家の特徴を残す貴重な建物です。(161頁・改160頁)

問48

正解 イ

アの一葉記念館は明治時代の女流作家、樋口一葉の業績^{きょうせき}を伝えるために建てられた記念館です。ウの書道博物館は、中村不折が書道研究のために集めた資料や文化財を展示、公開している博物館です。エの下町風俗資料館は明治から昭和の初めころの下町の町並みを再現した資料館です。資料館の2階では昔からあるおもちゃで遊ぶこともできます。平櫛田中彫刻美術館は小平市にあります。(160、162、163頁・改159、161、162頁)

問49

正解 イ

これは書道博物館のことで、画家であり書家でもあった中村不折により1936(昭和11)年に開館されました。書をはじめ、不折が書道研究のために集めた中国及び日本の書道に関する資料、考古出土品などが所蔵^{しよぞう}されています。(163頁・改162頁)

問50

正解 イ

樋口一葉は明治時代の女流作家です。一葉の代表作『たけくらべ』は、下谷龍泉寺町に住んでいたときに構想を得て執筆^{しつぴつ}されました。(162頁・改161頁)